

「挨拶」は語る

前回（第4号で）、挨拶の励行について触れました。今日は「挨拶が何を語るか」について触れたいと思います。

生活指導係が小海・馬流・高岩の駅頭で、校長先生や生活指導係が学校の昇降口で“おはよう”と声をかけています。そのときに返される挨拶から何が伝わってくるか、つまり、「挨拶」が何を語っているのかを文字にしてみたいと思います。



大きく・はっきり “おはようございます”・・・
小さな声で、ふてくされた声で “おはようございます”・・・
挨拶をしない “・・・・・・・・・・・・・・・・”・・・

からは何を感じますか？

元気の良さ、さわやかさ、すがすがしさ、気持ちよさ、明るさ、自信等

プラスの側面を感じます

からは何を感じますか？

おとなしさ、元気のなさ、体調の悪さ、暗さ、自信のなさ等

マイナスの側面を感じます

からは何を感じますか？

機嫌の悪さ、嫌悪感（挨拶した人に何か嫌な気持ちを持っているのか）、挨拶もできないのかな、変わった人だな、聞こえないのかな、声を出せないのかな、雰囲気の良い人だな等

マイナスの側面を感じ、同時に何とも言えない気持ち悪さも感じます

生活指導係として、毎朝このような挨拶のやりとりをしています。その一瞬一瞬に上述のような感じを抱いています。このことは、小海駅から乗車する他校生（白田・野沢南・野沢北・岩村田等）にも感ずることです。もちろん、その生徒達のごことはよく知りませんので、「挨拶」だけから伝わってくる印象ということになります。

相手にプラスのエネルギーを伝えられる挨拶ができると、それも自尊感情の高まりにつながるのではないのでしょうか。明るい挨拶を心掛けてください。

心配な情報

馬流駅付近でゴミを塀や生け垣の内側に投げ捨てることのあるとのこと

（昨年度も同様な指摘があり、途中の塀には「ゴミの投げ捨て禁止」の掲示が出されました）絶対にしないでください。